









東京都写真美術館展示会スケジュール

SCHEDULE

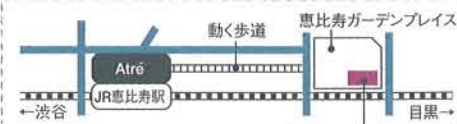
	2月	3月	4月	5月	6月
3F 展示室	 <p>文化庁メディア芸術祭 2月27日(金)~3月7日(日)</p>	<p>「第32回APA賞 日本広告写真家 協会 公募展」 3月12日(金)~ 3月21日(日)</p>  <p>野町和嘉写真展「祈りの大地」 3月30日(火)~5月9日(日)</p>	 <p>「知られざるロバート・キャパの世界」 4月3日(土)~5月16日(日)</p>	<p>東京写真月間2004 5月15日(土)~ 6月3日(木)</p> <p>世界報道写真展 6月8日(火)~ 8月1日(日)</p>	
2F 展示室	 <p>文化庁メディア芸術祭 2月27日(金)~3月7日(日)</p>	<p>「ニコフフォトコンテスト インターナショナル 受賞作品展」 3月12日(金)~ 3月28日(日)</p>		<p>奈良原一高写真展 「時空の鏡 ーシンクロシティ」 5月22日(土)~ 7月11日(日)</p> 	
1F ホール	<p>上映会「ウィング・バス」 1月24日(土)~ 2月22日(日)</p> <p>文化庁メディア芸術祭 2月27日(金)~3月7日(日)</p>	<p>上映会「アフガン零年」 3月13日(土)~5月中旬(予定) ※詳細はお問い合わせください。</p> 			
B1F 映像展示室	<p>文化庁メディア芸術祭協賛事業 わざとこころ-日本式・アニメーションの探険- 2月17日(火)~ 3月28日(日)</p> 	<p>インフォメーション・アートの 想像力展 4月3日(土)~4月18日(日)</p>  <p>休戦ライン155マイル 現代の秘境展 4月24日(土)~5月16日(日)</p>		<p>奈良原一高写真展 「時空の鏡 ーシンクロシティ」 5月22日(土)~ 7月11日(日)</p>	

※スケジュールは予告なく変更される場合があります。

ご利用案内

- 休館日：毎週月曜日 3/1(月)、5/3(月)は開館
(休館日が祝日または振替休日の場合、その翌日)
- 開館時間：10:00~18:00(木・金は20:00まで)
入館は閉館の30分前まで

★全館セット割引チケットの販売
お得な割引料金ですべての展示会をご覧いただける
チケットを販売しております。
詳しくはチケット売り場でおたずねください。



<http://www.syabi.com> 東京都写真美術館

Tel.03-3280-0099 Fax.03-3280-0033

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

恵比寿ガーデンプレイス内

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分※当館には専用駐車場はありません。恵比寿ガーデンプレイスの駐車場を御利用ください。



奈良原一高

1956年に軍艦島をテーマにした『人間の土地』で鮮烈なデビューを飾り、その後も日本写真史に数多くの名作を発表してきた奈良原一高氏。今年写真家生活50周年を迎え、日本では初となる回顧展を開催するにあたり、その軌跡を振り返っていただきました。



僕はカメラという小さなタイムマシンに乗って、いろいろな世界を旅してきました。

写真を撮り始めて、今年でちょうど50年。振り返ってみれば、半世紀の間、カメラという小さなタイムマシンに乗っていろんな世界を旅してきました。出発地は、やはり『人間の土地』（1956年・初の個展が大成功し写真家となる）の原点となった九州一周の旅でしょう。桜島の溶岩に埋もれた黒神村や、東シナ海に浮かぶ人工の炭鉱の島・端島（軍艦島）は当時、大学院で美術史を専攻していた僕にとって強烈な影響を与え、その後の人生を大きく変えました。まあ、いってみれば成り行きで写真家になったわけですが、20代はとにかく

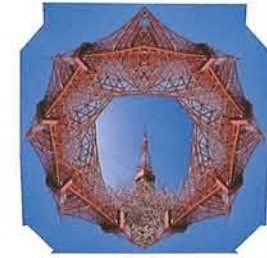
一気に駆け抜けましたね。というのも、戦争で多くの人の死を見ていたため、自分も30才までしか生きられないと思い込んでいたんです。でも、29才になっても自分はまだ生きています。そこで、ふと立ち止まって考えたんですね。「明日からどうしよう」って。これは、終戦を迎えたあの日と似た気分でした。

戦時下に育ち、旋盤工として働いていた僕が終戦を迎えたのは中学2年生の頃。軍国主義が突如として崩れ、明日からは民主主義だという空白の時間。まさに日本の価値観が180度転換した時間です。

それまで生き延びることだけを目標に生きてきたのに、いったい明日からどうやって生きていけばいいのか・・・、
そう思って 見上げた空は敵機のいない青空で、
まるで真空のようでした。

— そうだ、もう一度、ゼロに戻してみよう！

その頃、ちょうど、パリのファッション雑誌「ジャルダン・デ・モード」のアートディレクター、ジャン・ウィッドメからオファーを受けていたこともあって、僕はヨーロッパへ行く決意を固めました。もともと成り行きでなった写真家という生業に、少しの迷いを感じていた頃でもあったのです。ジャンは日本に來日した際、ファッション雑誌を見ては、気に入った写真を誰が撮影したか周囲に聞いていたらしいのですが、その写真の全てが僕の作品だったということが起用の理由でした。こうしてパリへ旅立ったわけですが、半年間は何も撮らず、ただブラブラと新しい世界を観察して過ごしました。なぜ撮影をしなかったのかというと、初めて行く世界では見るもの全てが新鮮に見えてしまって自分の価値基準がもてない。しかも、パリのファッション誌となれば、パリの人々のニーズが把握できなければ撮れないと思ったんです。そのために、半年間かけて自分の目ができるまで待ったわけです。



2

僕はいつもゼロ地点に戻って、また出発するという繰り返しをしてきました。

写真には用と不用の写真があって、ファッション写真などは社会が要求する用の写真だけど、僕が勝手に興味を持って撮ってきたほかの写真は社会にとっては不用なんですね。また、僕が最初にやってきたドキュメンタリー写真というのはその場の状況に合わせて撮る受身の写真ですけど、ファッションの写真というのは僕にとってはプロフェッショナルな仕事なんです。要望を受けて撮るわけですから、いわばアサインメントの仕事です。ところが、パリでの初仕事となったクリスチャン・ディオールさんの赤い靴の撮影をした時のこと。ディレクターから「うちのために撮る写真と、君が自分のために撮った写真の両方を見せて欲しい」と言われたんです。いわゆる用と不用です。変わったことを言う人だなと

思いましたね。そこで、撮影現場となったセーヌ川の岸辺で、まず用の写真から撮影を開始しました。そのうちに序々に陽が落ちてきましたが、夕方になると色温度が下がり、赤い靴がピンク色になることは最初からわかっていましたので、陽が落



3

ちる前に用の写真を撮り終え、あとは自分用として不用の写真を撮って終了しました。こうして現像した写真から選ばれたのが、なんと、自分用に収めたピンク色の写真だったんです。明らかにオリジナルの色とは違うんですよ。でも、ヨーロッパの人というのは美に対しての感覚が非常に割り切れているんですね。「こんな美しいピンクを撮るなんて。読者が見るのは君の写真。君の写真的美しさがあればそれで充分なんだ」と言って、結局、その作品を使いました。

世界にはそれぞれの国にそれぞれの物差しがあります。土地を変えれば、それまで持っていた物差しは通用しなくなりますし、被写体、そしてその土地の考え方に合わせた方法論をとっていかなければいけません。この50年、僕はいつもゼロ地点に戻って、また出発するという繰り返しをしてきました。常に新しい物差しを使って表現をしていきたい。一生、新人でありたいと思っています。

今回の回顧展は、そんな時間旅行の軌跡をたどるようなものですね。未発表のファッション写真もいくつか展示しますが、写真界の人にとっては新鮮かもしれません。また、僕の写真を知らない若い世代のかたにも是非、見ていただきたいですね。そうして出会った1枚の写真がきっかけとなって、僕が生きてきた時間、空間を旅してもらえれば嬉しく思います。

2F・B1F | 展示室・映像展示室
Exhibition・Gallery Images & Technology Gallery

2004年5月22日(土)～7月11日(日)

友の会 無料
三越カード 割引
アトレカード 割引

IKKO NARAHARA
奈良原一高
時空の鏡
—シンクロニシティ—

schedule >> 詳細ホームページ
<http://www.syabi.com/schedule.html>

■一般700(560)円 ■学生600(480)円
■中高生・65歳以上500(400)円
()は20名以上の団体料金および上記カード会員割引
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※東京都写真美術館友の会会員は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催：東京都／東京都写真美術館



「或るハイティーンの肖像」より
“A portrait of a girl in her late teens” 1959年
© IKKO NARAHARA



Profile
奈良原一高 (ならはら いっこう)

1931年福岡県生まれ。早稲田大学大学院在学中、56年に軍艦島をテーマにした「人間の土地」を発表。59年に第2回ヴェネチア国際写真ビエンナーレで銅賞を受賞、写真家集団「VIVO」を結成。その後パリやニューヨークを拠点に「ヨーロッパ・静止した時間」「スペイン 偉大なる午後」「消滅した時間」「肖像の風景」「空-Kū」「天-Heaven」をはじめ数多くの作品を発表。96年紫綬褒章授章。

海外での評価も非常に高く、日本を代表する写真家である奈良原一高氏の日本初となる回顧展を開催

“IKKO”の名で、世界的に高い評価を得ている奈良原一高は、1956年に「人間の土地」で写真界に衝撃的デビューを果たしました。その後、デビュー2年前に撮っていた「無国籍地」を「ロココール」誌に発表。1958年には北海道のカトリック修道院と和歌山婦人刑務所を日常生活から隔離された場所としてとらえた「王国」で、更に注目を浴び、第2回日本写真批評家協会新人賞を受賞しました。大学院で美術史を専攻していた彼は、この頃から“生きている人間が着ることで、一瞬、一瞬の造型が変わる”という服飾に興味を持ち始め、ファッション写真の撮影にも意欲的に携わっていました。その後、ヨーロッパ、ニューヨーク、東京と、次々に拠点を移しながら、今日まで様々なテーマの作品を送り続け、最近では、「Heaven(天)」で初のデジタル写真に取り組むなど、常に新しく斬新な表現方法で私たちを驚かせてくれます。

今回は、当館が収蔵するこれらの名作に加え、本展のために60年代の貴重なファッション写真等を初展示。約半世紀にわたる写真家人生の集大成ともいえる回顧展を開催いたします。

奈良原一高が歩んだ人生の旅路をあなたも時空を超えて体験してみませんか？

3F | 展示室
Exhibition Gallery

2004年3月30日(火)～5月9日(日)

友の会 割引
三越カード 割引
アトレカード 割引

※5/3(月)は開館いたしません

野町和嘉写真展
「祈りの大地」

schedule >> 詳細ホームページ
<http://www.syabi.com/schedule.html>

■一般700(560)円 ■学生600(480)円
■中高生・65歳以上500(400)円
()は20名以上の団体料金、東京都写真美術館友の会および上記カード会員割引料金
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催：PPS通信社 ■共催：東京都写真美術館
■協賛：キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社/株式会社サカエヤ株式会社サン・ライフ/富士写真フイルム株式会社
■協力：株式会社ケルヴィン/株式会社写真弘社/文化堂印刷株式会社
■後援：社団法人 日本写真協会
◎お問い合わせ：PPS通信社 TEL 03-3544-1471

大自然と生命の関わりを
独特の視点で、鋭くも美しい
カメラワークで捉えてきた
世界的写真家
野町和嘉の写真展開催



(サハラ) 出発の前に、メッカに向かい旅の安全を祈るキャラバンの男たち。 © Kazuyoshi Nomachi / PPS
キャラバンは、昼は太陽の位置を頼りに、夜は星座を見ながら進む。

現代国際社会における、最も優れたドキュメンタリー写真作家のひとりである野町和嘉氏は、1965年高知県立高知工業高校卒業後、写真家・杵島隆氏に師事し、1971年にフリーのカメラマンとして活動を開始しました。1972年に初めてサハラ砂漠を旅し、これまでに延べ30年間に渡って、シナイ半島、中央アジア等の取材をはじめ、ナイル取材、モロッコ、中国、東アフリカ、グレート・リフトバレー、サウジアラビア、エチオピア、イラン、チベットなどを取材・撮影してきました。あらゆる生命の存在を拒む厳しい乾燥地帯に魅せられ、大自然と生命のかかわりの根

源をあらゆる角度から、鋭い視点と、優れたカメラワークにより捉えてきたのです。その成果は写真集、展覧会として次々に発表され、それらは日本のみならず米・英・仏・独・伊、サウジアラビアなどでも出版され、国際的にも数々の賞を受賞し、高く評価されています。

本展では、これまでの写真活動の中から、過酷な大自然のなかを生存してきた人々の営み、悠久の時のなかで培われた生活の知恵、そして神への変わらぬ畏怖の念を捉えたものを、ヒューマンドキュメント「祈りの大地」として展示いたします。

2F | 展示室
Exhibition Gallery

2004年3月12日(金)～3月28日(日)

友の会
割引
三越カード
割引
アトレカード
割引

ニコンフォトコンテスト インターナショナル 受賞作品展

一時空を超える、心のイメージ

schedule >> 詳細ホームページ
<http://www.nikon-image.com/>

■一般500(400)円 ■学生400(320)円

■中高生・65歳以上200(160)円

()は20名以上の団体料金、東京都写真美術館
友の会および上記カード会員割引料金

※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催：株式会社ニコン

■共催：東京都写真美術館

◎お問い合わせ：ニコンカスタマーサポートセンター TEL 0570-02-8000



ニコンフォトコンテストインターナショナル 2002-2003 グランプリ受賞作品 "Alice In The Gambia"
作者:Ms.Helen Marshall (イギリス)

世界随一の国際写真コンテスト 受賞作150点を一堂に紹介

「ニコン フォトコンテスト インターナショナル」は、1969年、世界約40か国からの応募を得て第1回が開催された、応募数・歴史ともに、世界随一ともいえる国際写真コンテストです。29回目となった2002-2003年度のコンテストでは、日本国内からの募集も始められ、世界102の国と地域の写真愛好家から26000点を超える作品が寄せられました。本展では、その中から選ばれた受賞作150点と1969年からの歴代受賞作品を、同時に展示します。

広告は時代を写す鏡です。2003年を切り取れば『不況』しか見えてこないかも知れません。しかし、写真は時代を変える力を持っています。先の見えない時代といわれるからこそ、あえて写真と向き合ってみたいと思います。この不況下のもと広告業界に活気を戻すためには、元気の元となる広告写真が必要です。ネガティブな時代こそポジティブな要素が鮮明になります。APA賞では固定概念だけではなく、新しい目で2003年を切り取った作品をご紹介します。

3F | 展示室
Exhibition Gallery

2004年3月12日(金)～3月21日(日)

第32回 APA賞 社団法人日本広告写真家協会 公募展

■入場無料

◎お問合せ：社団法人日本広告写真家協会事務局
TEL 03-3543-3387

2F | 展示室
Exhibition Gallery

2004年4月3日(土)～5月16日(日)

友の会
無料
三越カード
割引
アトレカード
割引

※5/3(月)は開館いたしません

没後50年 知られざる ロバート・キャパの世界展

schedule >> 詳細ホームページ
<http://www.syabi.com/schedule.html>

■一般1,000(800)円 ■学生800(600)円

■中高生・65歳以上500(400)円

()は前売料金、20名以上の団体料金および上記カード会員割引料金

※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※東京都写真美術館友の会会員は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催：(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/
毎日新聞社



「東京のメデー会場を撮影するキャパ」1954年
©CAPA, Cornell

20世紀最大の報道写真家として世界に知られるロバート・キャパ。彼の没後50年を記念し、キャパの知られざる素顔に迫る写真展を開催します

ロバート・キャパは1913年、ブダペストに生まれ、パリで写真家として活動をはじめました。以後彼はスペイン市民戦争、日中戦争、第二次世界大戦下のヨーロッパ、イスラエル建国時の中東戦争、インドシナ戦争など三大陸で起こった5つの歴史的な戦争を写真に記録しました。キャパの残した膨大な写真の数々は20世紀の貴重な証言であり、今もなお全世界の人びとに強烈な印象を与え、感動を呼び起こしています。

本展覧会はキャパの偉大な業績を紹介すると同時に、写真家としての名声を得る第一歩となった「スペイン市民戦争」の写真群を、スペイン・サラマンカ市民戦

争資料館とスペイン国立図書館の特別協力を得て、ヴィンテージプリント83枚をわが国で一挙初公開します。

共和国側の民兵の死の瞬間をとらえた《崩れ落ちる兵士》に代表される写真群は世界に衝撃を与え、市民の苦しみや破壊を象徴化するキャパのまなざしは、ピカソの《ゲルニカ》同様、市民に勇気と希望を与え、その後の写真家としての生き方を決定づけるものになったのです。

キャパの知られざる素顔や人生観に触れながら、彼の込めた平和へのメッセージを感じてください。

COMMENT
ILS
SONT TOMBÉS



Le jarret vif, la poitrine au vent, fusil au poing, ils dévoilaient la pente couverte d'un chaume raidi... Soudain l'essor est brisé, une balle a sifflé — une balle fratricide — et leur sang est bu par la terre natale... PHOTO CAPA

N° 445  P. 1106

LA GUERRE CIVILE EN ESPAGNE

COMMENT
ILS
ONT FUI



Telle une scène calquée sur la Bible, la vision de ces traits fugitifs ou vinge douloureux évoque les exodes tragiques de l'Ancien Testament. PHOTO CAPA



Longeant les rails infinis, les enfants, insoucieux, croient à une promenade joyeuse, mais leur mère, d'un long regard, contemple une dévalière fois le village embrasé. PHOTO REISNER



C'est la migration du peuple d'une province - tout entière, ou pas lent des mulets lourdement chargés, parmi les cris des enfants, sous le dur soleil. PHOTO CAPA



Peut-être vivaient-ils heureux, peut-être coulaient-ils des jours paisibles dans un calme village... La guerre civile est venue et avec elle le désespoir, l'écroulement d'un foyer dans la misère. CAPA



Solitaire, les larmes coulant sans bruit sur ses joues, cette pèlerine emporte avec elle tout son humble bien. PHOTO CAPA

N° 445  P. 1107

B1F | 映像展示室 Images & Technology Gallery

2004年2月17日(火)～3月28日(日)

※3/1(月)は開館いたします

友の会
無料
三越カード
割引
アトレカード
割引

平成15年度[第7回]
文化庁メディア芸術祭協賛事業

わざとこころ — 日本式・アニメーションの探検

"Nippon" style — The Art of Animation from Japan

schedule >> 詳細ホームページ
http://www.syabi.com/schedule.html

■一般250(200)円 ■学生200(160)円
■中高生・65歳以上120(100)円
()は20名以上の団体料金
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※東京都写真美術館友の会会員は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催：東京都/東京都写真美術館
■共催：NHKエンタープライズ21
■協力：TYO/株式会社セルシス/CG-ARTS協会/
日本ヒューレット・パカード株式会社 ほか



伊藤有希「江戸の写し絵 オープニング映像」©I.TOON

海外でも隆盛を見せる日本の「アニメーション」の背景を探り、貴重な資料を中心に、その制作プロセス・テクニック・表現の可能性を楽しみながら体験する試みです。絵コンテ・音・キャラクター・動き・色など、アニメーション制作の幾つかの側面や作家たちの試みを通して、日本独自のアニメーションの傾向と特色に焦点をあて、美少女系など世界に類のない異色の発展状況と比類なき高水準の技術を紹介します。昨年の「絵コンテの宇宙 イメージの誕生」から生まれた公開作品「こまねこ」(本年度アニメーション部門優秀賞)のその後をはじめ、伊藤有希作品や、ゲーム『モジブリボン(キャラデザイン:松浦季里)』(いずれも審査委員会推薦作品)、巨匠たちの特集展示を通して、多様なアニメーションの背景を探ります。本展はアニメーションをはじめとする日本の映像メディア表現を世界が認める理由を探り、映像の生まれる瞬間を体感できる場となるでしょう。



「こまねこ」©TYO/dwarf2003



「こまねこ」©TYO/dwarf2003

*出品作品点数 30点(予定)

- 1) 「コマ撮りアニメーション」
アニメソフト「クレイタウン」
(伊藤有希十うままでるび、セルシス) 体験展示
コマ撮りアニメ「こまねこ」
(TYO 合田経郎十峰岸裕和) 制作資料
- 2) 「巨匠たちのテクニック」
押井守「イノセンス」ほか作品制作資料
「冬の日」(川本喜八郎ほかオムニバス作品)メイキング紹介
- 3) 「美少女アニメの魅力」
「まほろまでいっく」 「十兵衛ちゃん2」ほか制作資料公開

※上記カテゴリは文化庁メディア芸術祭入賞作品関連資料を展示します。

Work Shop

「わざとこころ—日本式・アニメーションの探検」展関連ワークショップ

■クレイアニメをつくろう 春休み子どもワークショップ(半日・全4コース)
クレイアニメーションは、粘土で作ったキャラクターを少しずつ動かして1コマずつカメラで撮影するアニメーションです。この表現を使ってとびきり楽しいビデオ作品を作りましょう。

■日時 3月27日(土) ①10:30～12:30 ②14:00～16:00
3月28日(日) ③10:30～12:30 ④14:00～16:00
■定員・参加対象 各コースとも20名(小学3年生～6年生まで)
■参加費 1,000円(材料費込み) ■申込方法 往復はがき
■申込締切 3月12日(金) 必着

Work Shop >> 詳細は http://www.syabi.com/workshop.html

3F・2F | 展示室 Exhibition Gallery

2004年2月27日(金)～3月7日(日)

※3/1(月)は開館いたします

平成15年度[第7回] 文化庁メディア芸術祭

schedule >> 詳細ホームページ
http://www.plaza.bunka.go.jp/festival

入場無料

■主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会/文化庁/
CG-ARTS協会
■協力：財団法人東京歴史文化財団/東京都写真美術館

文化庁メディア芸術祭は、Web・ゲーム・CG・インスターレーション・アニメーション・マンガなどさまざまな分野におけるメディア芸術作品を顕彰し、アーティストの創作活動を広く紹介するために、平成9年度から毎年開催されています。本年度は世界42カ国より寄せられた応募総数1584作品の中から4作品がメディア芸術祭賞の受賞作品として決定しました。芸術祭への応募数は年々増加しており、今年は海外からの作品が494作品と、前年度の3倍以上となる参加数となりました。このようはことから、メディア芸術の国際的な広がりとともに、日本発のメディアアートやコンテンツに対する海外からの興味と関心の高まりを強く感じさせられます。

本展ではロールプレイングゲームを着実に進化させた「ファイナルファンタジー・クリスタル クロニクル」や「連句アニメーション「冬の日」」などの大賞作品のほか、4部門に寄せられた今年度を象徴する優れた作品を多数展示。そのほか、受賞者と各分野の第一人者によるシンポジウムや歴代の受賞者達によるアートとテクノロジーの融合をテーマにした企画展示も開催します。

平成15年度[第7回]文化庁メディア芸術祭 大賞作品

	<p>アート部門</p> <p>デジタル・ガジェット 6,8,9</p> <p>クワクボ リョウタ ©クワクボ リョウタ</p>		<p>アニメーション部門</p> <p>連句アニメーション 「冬の日」</p> <p>川本 喜八郎他 © IMAGICAエンタテインメント・ 電通テック</p>
	<p>エンターテインメント部門</p> <p>ファイナルファンタジー・ クリスタル クロニクル スクウェア・エニックス/ 任天堂開発チーム ©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO, INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO., LTD. CHARACTER DESIGN/Toshiyuki Itohano</p>		<p>マンガ部門</p> <p>ガジムヌガタイ — 風が語る沖縄戦 —</p> <p>比喜徳 © 比喜徳/講談社</p>

◎お問い合わせ:文化庁メディア芸術祭事務局 CG-ARTS協会内/0120-45-4536

B1F | 展示室
Exhibition Gallery

2004年4月24日(土)～5月16日(日)

※5/3(月)は開館いたします

友の会
割引

休戦ライン155マイル
写真で見る38度線非武装地帯の自然
現代の秘境

「schedule」詳細ホームページ
<http://www.syabi.com/schedule.html>

- 一般500(400)円
- 学生400(320)円
- 中高生・65歳以上250(200)円(都内中学生は無料)
- ()は20名以上の団体料金および東京都写真美術館友の会会員割引料金
- ※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
- ※第3水曜日は65歳以上無料

- 主催：東京日韓親善協会連合会
- 共催：東京都写真美術館 / 在日本大韓国民団東京地方本部
- 後援：外務省 / 東京都 / 駐日韓国大使館 / 韓国文化院 / 韓国地方自治団体国際化財団東京事務所 / (株)NHKエンタープライズ21 / (社)日本写真家協会 / (社)日本写真協会 / (社)日本広告写真家協会



"Circled barbed wire"

朝鮮半島が38度線に分断されてから50年の歳月が経過しました。その間、38度線非武装地帯に奇しくも人跡未踏の秘境が生まれ、四季折々に、今は稀にしかみることができない

草花が咲き、絶滅に瀕している野鳥が飛び交い、豊かな自然が命を謳歌する貴重な一帯となりました。この非武装地帯で、韓国陸軍省から特に許されたカメラマン崔秉寛(チェビョンカン)が、1997年から3年間にわたって撮影した10万枚にもおよぶ写真の中から、約200点を厳選し、展示いたします。

◎お問い合わせ：東京日韓親善協会連合会 / 03-3503-4639



"Cosmos flowers bloom in the mine field"

B1F | 展示室
Exhibition Gallery

2004年4月3日(土)～4月18日(日)

- 一般500(400)円
- 学生400(320)円
- 中高生・65歳以上100(80)円
- ()は20名以上の団体料金

※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料
※東京都写真美術館友の会会員は無料

- 主催：「インフォメーション・アート」展実行委員会
- 共催：東京都写真美術館

「インフォメーション・アートの想像力」展 Vol.2

友の会
無料

伝達の技術に価値を置く時代から、情報そのものに価値を見出す「情報の世紀」の中で、視覚・聴覚・言語による表現はどのような想像力を持つことができるのか。本展では、この問いにこたえるため、「インフォメーション・アート」の創造を目指す大学や学生が参加し、その新たな発見を展示します。

◎お問い合わせ：(株)ヒューマンメディア / 03-3475-5377

Column
写真でトーク。

04

「写真の中のTOKYO」

写真には「真実を写す」力がある。芸術、報道、時に政治をも左右する写真というメディアだが、その歴史はわずか二六〇年である。約一四〇年前の江戸時代後期に来日し、日本各地の風景、風俗を撮影し写真帖として発表したフレリックス・ベアトというイタリア人がいる。その写真帖の中でも、「愛宕山から見た江戸のパノラマ」は五枚つりの印画紙からなる大作で、江戸城防衛の要地であった愛宕山から大名屋敷をダイナミックな視点で捉えた見事な作品である。江戸のモノクロームな優雅で美しく機能的な町並みと自然との調和が実によく表現されている。ベアトらの影響を受け、その後日本でも上野彦馬、下岡蓮杖といった写真師が続々と誕生し、現在、世界における日本の写真作品は高い評価を得ている。



フレリックス・ベアト「幕末写真帖」より Panorama of Yeddo from Atagoyama (愛宕山から見た江戸のパノラマ) 1865年～66年 鶏卵紙



東京都知事 石原慎太郎

石原 慎太郎



都庁にて

ところで、私が入力している政策のひとつに若手芸術家の支援があるが、次代を担う新進美術作家の公募展「トーキョーワンダーウォール」では、近年写真作品の台頭もめざましく、二〇〇一年に開設した「トーキョーワンダーサイト」でも多くの若いアーティストたちが作品を発表している。

日本で唯一の写真と映像の専門美術館である「東京都写真美術館」では、年間三〇本余りの展覧会や上映会を開催し、国内外から年間三〇万人以上の来館者をお迎えしている。

今後、多くの人々が写真に親しみ、首都東京から優れた写真文化を発信し続けることを祈念している。



東京都写真美術館で観る映画シリーズ

当館では「写真美術館で観る映画シリーズ」と題し、
選りすぐりの作品を上映しています。美しい映像と心にしみる感動をお楽しみください。

シリーズ
Vol.9

タリバン政権崩壊後、初めて誕生したアフガン映画

アフガン零年

カンヌ国際映画祭カメラドール特別賞
ゴールデングローブ外国語映画賞



■2003年/アフガニスタン=日本=アイルランド/82分/カラー/35ミリ/ダリー語 ■監督:セディク・バルマク 主演:マリナ・ゴルバハリ、モハメド・アリーフ・ヘラーティ ■2003年カンヌ国際映画祭カメラドール特別賞、CICAE賞、カンヌ・ジュニア2003受賞 ■ゴールデングローブ外国語映画賞受賞

◎お問い合わせ:アップリンク/03-5489-0755

- 上映スケジュール/3月13日(土)~
- 休映日/毎月曜日(5/3(月・祝)は上映いたします。)
- 上映時間/82分
- 一般1,800円 ■学生1,500円
- 中学生以下・60歳以上1,000円

タリバン政権の抑圧下で生きる12歳の少女とその母。女性の一人歩きを禁じられ、生活の糧を失った家族は、少女の髪を切る。少年となった少女は戦争で殺害された父の友人の下で働き始めるが、その翌日、街のすべての少年たちとともにタリバンの学校へと召集されてしまう。その学校では宗教の勉強や軍事訓練が行われていた。大勢の少年達の中で、真実を隠し続ける少女だが、宗教儀式でのささいなミスから、タリバンに疑いを抱かれる。そしてとうとう少女であることが暴かれる…。タリバン政権下では、長い間、テレビ・映画・音楽が禁止されていた。政権崩壊で初めて誕生したのがこの映画で、2003年 カンヌ国際映画祭でカメラドール特別賞、ゴールデングローブ外国語映画賞を受賞した、世界が注目する映画。

4F | Library

図書室

東京都写真美術館
4Fの図書室は、蔵書点検のため下記の日程で、休室させていただきます。あらかじめご了承ください。



図書室休室のお知らせ

蔵書点検による休室期間:
3月23日(火)~29日(月)

1F・2F Cafe

4月3日に2階エントランスホールにすてきなカフェがニューオープンします。この新しいカフェはBRUSSELSがプロデュースするものです。



カフェ工事のお知らせ

3月8日~12日まで2階エントランス付近で新設カフェの工事を行います。ご来館の皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご了承の程お願い致します。

Membership

維持会員

※詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.syabi.com/Membership.html>

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に維持会員としてご入会いただきました。

(平成16年1月現在・五十音順)

- 特別維持会員
 - キヤノン株式会社
 - 株式会社資生堂
 - 東京電力株式会社
 - 凸版印刷株式会社
 - 株式会社リコー
 - 朝日新聞社
 - アサヒビール株式会社
 - 朝日放送株式会社
 - 味の素株式会社
 - アップルコンピュータ株式会社
 - 株式会社イトーヨーカ堂
 - NHKエンタープライズ21
 - NTTコミュニケーションズ株式会社
 - 株式会社NTTドコモ
 - 株式会社大林組
 - オリバス株式会社
 - 株式会社オンワード樞山
 - カンオ計算機株式会社
 - 鹿島建設株式会社
 - 株式会社角川書店
 - カトーレック株式会社
 - カネボウ株式会社
 - カルピス株式会社
 - キッコーマン株式会社
 - キヤノン販売株式会社
- 維持会員
 - 共同印刷株式会社
 - 協和発酵工業株式会社
 - キリンビール株式会社
 - 株式会社講談社
 - 株式会社コーセー
 - コダック株式会社
 - 株式会社ザ・アール
 - サッポロビール株式会社
 - サントリー株式会社
 - ジェイティービー印刷株式会社
 - 清水建設株式会社
 - 株式会社写真弘社
 - 株式会社集英社
 - 株式会社主婦と生活社
 - 株式会社小学館
 - 松竹株式会社
 - セイコー株式会社
 - セイコーエプソン株式会社
 - セントラル警備保障株式会社
 - ソニー株式会社
 - 第一建築サービス株式会社
 - 大成建設株式会社
 - 大日本印刷株式会社
 - 株式会社タムロン
 - 中外製薬株式会社
 - 株式会社竹中工務店
 - 株式会社テレビ東京
- 株式会社電通
- 東亜建設工業株式会社
- 東海旅客鉄道株式会社
- 東京ガス株式会社
- 東京急行電鉄株式会社
- 東京工芸大学
- 東京総合写真専門学校
- 株式会社東京ドーム
- 株式会社東芝
- 株式会社東北新社
- 株式会社徳間書店
- 図書印刷株式会社
- 戸田建設株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- 株式会社ニコン
- 日産自動車株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 日本興亜損害保険株式会社
- 社団法人日本広告写真家協会
- 日本写真芸術専門学校
- 日本写真作家協会
- 社団法人日本写真文化協会
- 日本信販株式会社
- 日本大学芸術学部
- 日本テレビ放送網株式会社
- 日本ビルサービス株式会社
- 日本放送協会
- 日本油脂株式会社
- 日本リーバ株式会社
- 株式会社博報堂
- びあ株式会社
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 株式会社ファーストリテイリング
- 富士重工業株式会社(スバル)
- 富士ゼロックス株式会社
- 株式会社フジテレビジョン
- 株式会社ブリヂストン
- 株式会社フレームマン
- 株式会社ベネッセコーポレーション
- バンタックス株式会社
- 株式会社ホテルオークラ
- 株式会社堀内カラー
- 本田技研工業株式会社
- 毎日新聞社
- 株式会社マガジンハウス
- 丸善株式会社
- 森ビル株式会社
- モンブランジャパン株式会社
- 読売新聞社
- ライオン株式会社
- 株式会社ワコール

1F | Supporter

友の会

東京都写真美術館友の会は特典がいっぱいです。



東京都写真美術館では、随時新規会員の募集をしています。展示会のご招待・割引、上映映画の割引、写真美術館ニュースeyesの送付をはじめ、たくさんの特典をご用意している他、関連施設での割引もごあります。開館時間中(10:00~18:00)に当館1階チケットカウンター横「友の会カウンター」にてご入会いただけます。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみの受け付けとなっております。●詳細は当美術館までお問い合わせください。(03-3280-0099)

年会費	
個人会員	2,000円
家族会員同伴者1名まで	3,000円
シルバー会員(65歳以上の方)	1,000円

*会員証の有効期限は、翌年の同月末日までです。

友の会特典	収蔵展・映像展	共催展・企画展	ミュージアムショップ	レストラン・カフェ	その他
特典内容	無料 ※会期中は何度でもご覧いただけます	割引 ※御利用いただけるともさせていただきます	5%引き ※一部商品は除きます	割引など ※詳細はお尋ねください	・実験劇場(1階ホール)の割引 ・写美NEWS「eyes」送付 ・ロゴス渋谷店で1,000円以上のお買上につき5%割引(洋書・洋雑誌)

ゴールデンウィーク中の開館スケジュール

4/25 (sun)	26 (mon)	27 (tue)	28 (wed)	29 (thu)	30 (fri)	5/1 (sat)
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■

★5月3日(月)は開館いたします。
ゴールデンウィーク中は左記のスケジュールにて開館いたします。皆様のお越しをお待ちしております。
■開館時間/10:00~18:00(木・金は20:00まで)
入館は閉館の30分前まで